

山田クリニック ぽすと

平成26年 1 月号

〒522-0054 彦根市西今町 923-1

Tel 0749-22-7005 Fax 21-3981

<http://www.hikone-yamadacl.com>

◆◆◆ 受付から ◆◆◆

新年明けまして おめでとうございます。

旧年中、当院を御利用いただきました皆様には、格別なご高配を賜り有り難うございました。

「光陰矢の如し」と言いますが、去年は当院も何かにつけて大変な一年を過ごしたと思います。気がつけば平成に元号が変わってから早くも四半世紀がたっていました。月日の経つのはやいものだとつくづく感じます。

どうか皆様にとって、今年も実り多き一年でありますことをお祈りいたします。

山田クリニック 職員一同

検査室より

誤嚥性肺炎(ごえんせいはいえん)について

誤嚥性肺炎は細菌が唾液や胃液とと共に肺へ流れ込んで起きるはいえんです。高齢者に多く発症し、再発を繰り返す特徴があり、再発により薬の耐性菌が発生してすぐれた抗生物質も効かなくなり多くの高齢者が死亡する原因となっています。この病気は、脳卒中や全身麻痺、または麻痺のない脳梗塞において神経伝達物質の欠乏により咳や嚥下反射などの神経活動が低下して起こります。咳や嚥下反射が低下してしまうと知らない間に細菌が唾液とともに肺へと流れ込み、この細菌が肺の中で増殖して起こります。また、胃液などの消化液が食べ物と一緒に食道を逆流して肺へと流れ込み起きる場合もあります。

誤嚥性肺炎は原因となる細菌を殺菌する抗生物質で治療します。胃液が肺へ流れて起きた肺炎の場合は、短期間にステロイドを用いて肺炎自体を鎮める場合もあります。酸素欠乏になった場合は酸素吸入を行います。重症の呼吸不全のときは人工呼吸器などによる治療も併せて行われます。

再発防止には脳梗塞後遺症の方に使われるお薬や咳などの反射を促がす薬も有効であるとされています。また、歯磨きを毎日して、口の中の雑菌を減らしたり、食後一定時間(2時間)座ってもらって、胃液の逆流を防ぐことも誤嚥性肺炎の予防にとって大切であるとされています。さらに、高齢者では歯ぐきマッサージを行えば嚥下反射が改善して誤嚥性肺炎の予防に役立つとされています。(日本呼吸器学会ホームページより参照)

風・物・詩

お年玉

古くは正月行事として「歳神」を迎える祭りがあり、門松を立てて鏡餅をお供えしました。『お年玉』の語源はお供えした餅をお下がりとして、子供たちに食べさせ、「御歳魂(おとしだま)」と呼ばれた事からとする説があります。

また、この餅は年初に分配される事から、歳の初めの賜物(タマモノ)で「年賜(としたま)」が変化したとする説や、鏡餅が丸い事から「お年玉」になったとする説があり、どちらも歳神に由来します。お年玉が金品を贈る言葉として用いられた例は、室町時代からみられるようになり、当時は茶碗や扇など色々なものが贈り物として用いられたそうです。

診察医のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	吉田	山田	吉田	山田	吉田	山田
午後	吉田	中嶋	中嶋	×	吉田	×

午前診察 9:00～12:00 休診日：日曜・祭日

午後診察 4:30～6:30

ご連絡

1/23 より木曜日の午前診を開始します。

山田先生が担当されます。

